

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中山弘一
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3516
事務事業名	11715 道路維持補修事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	06033500 橋や道路整備の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費										
	事業	030000 道路維持補修事業										
事業目的						事業概要・効果						
道路法に定める道路管理者として安全に配慮した維持管理を実施する。						建設から整備（作るから長く使う）に転換し、既施設の維持管理は今後益々重要度が上がるため、計画的な維持管理と緊急補修の対応により道路施設の長寿命化を図る。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	修繕工事 道路69件、側溝46件、水路20件、舗装62件 。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
修繕工事 道路55件、側溝26件、水路31件、舗装60件 。	修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等)

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		81,860	79,500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	1,000
	地方債	0	0
	その他	0	50,000
一般財源		81,860	28,500
人員数(人)	正規職員	2.5	2.0
	嘱託職員	0.7	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	17,145.0	13,716.0
	嘱託職員	1,907.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	19,052.5	13,716.0
市民一人当たりの経費		1.9	1.8
総額		100,912.5	93,216.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	776	
15節 工事請負費	74,874	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,210	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,500	
15節 工事請負費	70,000	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,000	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	老朽化が進み 修繕要望箇所が多数あり 非常に必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	修繕を実施することにより、安全性の向上に繋がる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	箇所数が増大し、多額の修繕費用が必要である。箇所毎に内容が異なり効率性の向上は難しい。多額の修繕費により対応すれば、効率性は向上する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

修繕要望箇所が増大する中、限られた予算で実施しており実施箇所の絞込みに苦慮している。緊急箇所以外の修繕についても今後、修繕の年次計画等の作成が必要である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
各町からの修繕要望が多く寄せられる中、危険度・緊急性等から優先順位を決め、効率的に実施する。		市民の安全を確保するとともに、施設の長寿命化を図るために緊急性の高い箇所から迅速な対応をしていく	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	